

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2010-131448(P2010-131448A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2010-58156(P2010-58156)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて前記表示領域に表示される図柄の変動を開始し、図柄の表示結果として確定表示される最終停止図柄があらかじめ定められた特定表示態様となった場合に遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、前記可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、特定表示態様とするか否かを決定する特定表示態様決定手段と、前記可変表示部の表示内容を決定する表示内容決定手段と、前記表示内容決定手段の決定にもとづいて、図柄の変動開始から最終停止図柄を確定表示するまでの期間である図柄の変動期間を特定するための情報を出力可能なコマンド出力手段とを含み、

前記コマンド出力手段は、さらに、図柄の変動期間が経過したときに全図柄の停止を示すコマンドを出力し、

図柄の変動態様には、特定表示態様を表示する場合に最終停止図柄とは異なる仮停止図柄を表示しその後最終停止図柄を表示することが可能な再変動が含まれ、再変動は、少なくとも第 1 の態様と第 2 の態様とを含み、前記第 2 の態様の期間は、その期間における移行図柄数に応じて定められ、

前記表示制御手段は、図柄の変動期間が同一であって前記第 2 の態様の期間が異なる複数の再変動を制御可能であり、前記全図柄の停止を示すコマンドが出力されたときに、前記最終停止図柄を停止表示させ、

図柄の変動態様には、前記第 2 の態様の期間は異なるが図柄の変動期間が同一である複数の態様が含まれる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明による遊技機は、表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて表示領域に表示される図柄の変動を開始し、図柄の表示結果として確定表示される最終停止図柄があらかじめ定められた特定表示態様となった場合に遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、遊技制御手段は、特定表示態様とするか否かを決定する特定表示態様決定手段と、可変表示部の表示内容を決定する表示内容決定手段と、表示内容決定手段の決定にもとづいて、図柄の変動開始から最終停止図柄を確定表示するまでの期間である図柄の変動期間を特定するための情報を出力可能なコマンド出力手段とを含み、コマンド出力手段は、さらに、図柄の変動期間が経過したときに全図柄の停止を示すコマンドを出力し、図柄の変動態様には、特定表示態様を表示する場合に最終停止図柄とは異なる仮停止図柄を表示しその後最終停止図柄を表示することが可能な再変動が含まれ、再変動は、少なくとも第１の態様と第２の態様とを含み、第２の態様の期間は、その期間における移行図柄数に応じて定められ、表示制御手段は、図柄の変動期間が同一であって第２の態様の期間が異なる複数の再変動を制御可能であり、全図柄の停止を示すコマンドが出力されたときに、最終停止図柄を停止表示させ、図柄の変動態様には、第２の態様の期間は異なるが図柄の変動期間が同一である複数の態様が含まれることを特徴とする。そのような構成によれば、図柄変動のパターンを増加しても表示制御手段に送出されるコマンド数が増えず、遊技制御手段の図柄表示に関する制御の負担を軽くすることができる効果がある。